

I 活動方針

最近のわが国の存在感は限定的ながら注目される事象が多い。特に科学技術の評価は非常に高い。新しいところでは「こうのとり」という愛称を持つ無人の宇宙輸送船が国際宇宙ステーションへの物資輸送で完璧にその任を果たした。「こうのとり」に搭載された技術はわが国独自のもので、米国のスペースシャトルが本年で引退すれば国際宇宙ステーションへの大型物資輸送手段は「こうのとり」が唯一のものとなる。これだけの技術と実績のある成果を、わが国はどのように活かすのかというビジョンが示されていないことが残念である。

阪神間のビジョンはどのようなものか。特に本年はJR大阪駅の新装に伴う百貨店の集積は全国的に見ても過剰と目されている。大阪駅周辺の商業機能は、関西圏のみならず広く西日本全域に影響を及ぼすと思われる。当然、周辺の商業施設も生き残りを賭けた方策で対抗を図る動きが顕著である。まちがいなく関西経済の浮揚を牽引するであろう大型プロジェクトの生み出す新たな秩序への対応こそ急務であると自覚せざるを得ない。

本年はかつて経験したことのない多くの事象が起こる年度である。当地を主要な舞台として描かれる映画の公開や国際的な催しが開催され、例年よりも国内外から多くの人々が当市を訪れる。反面、大阪の大型プロジェクトにより多くの消費が市外に流出する可能性も高い。地域の商業は過当競争の影響を受けることは間違いなく、外国から来られる多くの来訪者への対応も不十分な実情もある。まさに内憂外患という年度となる。

新しい機能に対抗する手段は何か。それは、今まで培われた地域の信頼という「絆」を深めることだと確信している。多くの課題・問題もお互いの信頼を基礎に努力しあうことで解決することができる。地域の個性は、小さくとも集まって団結し、互いに助け合い力を合わせることで発揮される。商工会議所創立の精神はここにある。内憂外患を乗り越える唯一の力は、商工会議所に多くの事業所の参加を募り、一致団結して新たな秩序への対応を図ることである。

従って、本年の活動方針は「集団の力」を発揮することを重要視し、まずはより多くの事業所が商工会議所に集まること、すなわち会員増強に重点を置き、そして、より多くの会員事業所が事業に参加し、「だいすき宝塚」の理念のもと地域を信頼で繋ぐことを目標に掲げる。

「こうのとり」の成功は、その前身機種「きぼう」の実績があればこそ実現された。商工会議所も次世代につながる地域活力の源を築くため事業を展開してまいります。会員の皆様も趣旨ご理解をいただき、事業者の結集につきご協力とご尽力をお願いいたします。

3月22日(火) イオン伊丹昆陽ショッピングセンター 開業

敷地面積：66,200㎡、延床面積：72,125㎡、駐車台数：2,400台

店舗数：AEONと159の専門店(1階～3階)

4月23日(土) 映画「阪急電車」関西先行ロードショー開始(原作 有川浩『阪急電車』)

4月29日(金) // 全国ロードショー開始

4月29日(金) 大阪茶屋町「NU chayamachi プラス」がNU chayamachiの東側に開業

2館合わせて100店舗級の商業施設にスケールアップ(20-30代中心)

H22.12.22「MARUZEN&ジェンク堂書店梅田店」が茶屋町のB1-7階に入居、オープン済(売場面積：6800㎡)

5月4日(水) JR大阪駅グランドオープン(橋上駅舎は4月11日供用開始)

◇サウスゲートビルディング(現アクティ大阪) 店舗：百貨店(大丸)

・延床面積：約18万㎡(ビルディング全体)、高さ：約70m(B2階～15階)

◇ノースゲートビルディング 延床面積：約21万㎡、B3階～28階

・百貨店ゾーン(JR大阪三越伊勢丹) 売場面積：約5万㎡

・専門店ゾーン 延床面積：約4万㎡、店舗面積：約2万㎡

・エンターテインメントゾーン(12スクリーンのシネマコンプレックス)

国内大手映画会社3社の共同運営(客席数：2300席規模)

・サビッシュゾーン(コミッククラブ) ・オフィスゾーン ・トップレストラン

*大阪駅北地区先行開発区域プロジェクト中核のレジデンスビルは2013年春竣工予定

7月23日(土)～24日(日) 第27回宝塚国際室内合唱コンクール開催

コーラスマスタークラス H23.11.27(日)、H24.2.26(日)

11月7日(月)～14日(月) キンボールスポーツワールドカップ・宝塚2011開催

Ⅱ 重点事業

(策定方針)

会員の連携力の向上と都市機能強化

1. 宝塚経済活性化の政策・要望活動の積極的展開

- (1) 「宝塚市産業活性化推進会議」の運営
- (2) 新名神高速道路に係る経済効果の調査・研究

2. 産業活性化策の積極的推進

- (1) 地域活力増進事業の推進
 - ① 「商人塾」の開催
 - ② だいすき宝塚推進事業「ワンコイン de スタンプラリー2011」の実施
- (2) 創業・起業支援事業の促進
 - ① 「起業（創業）なんでも相談日」の開設
- (3) 労働環境対策事業
 - ① だいすき宝塚推進事業「キンボールを活用した労働環境改善支援事業」の実施

3. 組織の基盤強化

- (1) 会員増強運動の展開

4. 「だいすき宝塚」推進事業の企画・推進

- (1) 「だいすき宝塚」事業推進委員会の運営
- (2) 「ワンコイン de スタンプラリー2011」の実施
- (3) 「キンボールを活用した労働環境改善支援事業」の実施
- (4) 「すまい・るネット宝塚」事業の実施
- (5) 「福祉商業」の調査研究
- (6) 「だいすき宝塚」全体支援事業の企画

(II 重点事業の概要)

1. 宝塚経済活性化の政策・要望活動の積極的展開

(1) 「宝塚産業活性化推進会議」の運営 ～経済活性化常任委員会

企業立地・誘致策や北部開発等地域課題を総合的に整理することを目的とし、経済活性化常任委員会において研究、各部会で検討議論する。

(2) 新名神高速道路に係る経済効果の調査・研究 ～研究会

サービスエリア等の設置に係る経済効果を関係機関と協調して調査・研究。

2. 産業活性化策の積極的推進

(1) 地域活力増進事業の推進

① 「商人塾」の開催 ～中小企業相談所

昨年度に引き続き大型店出店対策の一環として“宝塚まちなか商業”の活性化を目指し、今年度は商業部会と連携し、テーマを検討する。

② だいすき宝塚推進事業「ワンコインdeスタンプラリー2011」の実施

～経済活性化常任委員会

昨年度実施内容を検討の上、会員より事業内容の継続並びに拡大要望が多くあり、その声に応えて実施する。事業の根底に流れる、地元の再発見と地元消費を促進させること、ひいては「お買い物は宝塚」運動を強力に推進する。

事業の中核をなす事業としてスタンプラリーを実施し、期間を限定してイベント的效果を担う。小規模零細な事業所単独では実施が困難な「ワンコイン」事業を、様々な商材やサービスを商工会議所が一堂に集め紹介、参加店で「ワンコイン」商品等購入ごとにスタンプを集め、一定の数により抽選に参加することができる内容。後日抽選により会員事業所の賞品を得る、事業の付加価値を高めることや市内産品等の普及に努める事業を実施する。

(2) 創業・起業支援事業の促進

① 「起業（創業）何でも相談日」の開設 ～中小企業相談所

従来の年4回「起業（創業）何でも相談日」を日本政策金融公庫と共催で開催、本年度は新たにその発展型として、月1回「起業（創業）個別相談」を開設する。

(3) 労働環境対策事業

① だいすき宝塚推進事業「キンボールを活用した労働環境改善支援事業」の実施 ～会員福利厚生常任委員会

〈共遊〉〈主体〉〈創造〉3つのテーマに沿って生まれたスポーツであるキンボールを会員事業主のみならず従業員等の参加が可能な職場の健康作り事業として推奨する。会議所主催でキンボール大会を実施、市内企業の互助互恵の精神を発揮して連帯感を高めるとともに職場の連帯感を醸成する事業を実施する。企業単独では実施し難い事業を、商工会議所がスケールメリットを活かし労働環境改善の一助とする。

3. 組織の基盤強化

(1) 会員増強運動の展開

本年は商工会議所事業に多くの参加を募ることに主眼を置き、通年で地域に活動の浸透を図る。組織全体で会議所活動への参加を促し、結束力により地域経済の浮揚を促進する。キーワードを「宝塚を元気に」とし、商工会議所への参集を会員から非会員へと広め増強運動を展開する。

4. 「だいすき宝塚」推進事業の企画・推進 ※(2)、(4)は前年度より継続

- (1) 「だいすき宝塚」事業推進委員会の運営
- (2) 「ワンコインdeスタンプラリー2011」の実施 ※前掲参照
- (3) 「キンボールを活用した労働環境改善支援事業」の実施 ※前掲参照
- (4) 「すまい・るネット宝塚」事業の実施
- (5) 「福祉商業」の調査研究
- (6) 「だいすき宝塚」全体支援事業の企画